

一般財団法人上田市体育協会

平成25年度事業報告書

平成25年度、当協会は市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図ることを目的とし、市民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践し、健康で生涯にわたりスポーツに親しむことができる明るい社会と競技力の向上につながるスポーツ環境を目指し、「うえだスポーツ振興ビジョン」に基づき、当協会加盟団体及び関係機関・団体と連携し、次のとおり諸事業を実施した。

1 組織の充実について

(1) 新公益法人制度改革に伴う一般財団法人への移行

当協会は本年度4月1日から「一般財団法人」の認可を受けて、新たなスタートを切った。これを契機に本会の組織運営体制の見直しを実施し、より一層の透明性を高めるとともに、より厳格で適正な運営に務めた。

(2) 加盟団体組織の組織強化と連携

加盟37団体において自主的なスポーツ活動がスムーズに実施できるよう、総合企画委員会を中心に協議し、運営支援を行った。

また、10月には全加盟団体とのヒアリングを実施し、各団体との意見交換の場をもつと共に、連携を図った。

(3) 武石地域・菅平高原地域との連携。

本協会と武石地域スポーツ統括団体「たけしスポーツクラブ」との統合については、基本事項についての協議が整い、12月19日に統合基本協定調印式を開催した。

平成26年4月1日付で正式統合の予定であったが、たけしスポーツクラブ(統合予定時：武石スポーツ協会)での都合により、体制が整うまで統合は一時延期することとなっている。

また、真田町菅平高原との連携については、2019ラグビーワールドカップ日本開催に伴う「キャンプ地を誘致する会」への参加協力を行った。

2 「うえだスポーツ振興ビジョン推進会議」の設置について

本ビジョンの目的達成と上田市スポーツ振興計画の推進を図るために計画した「推進連絡協議会(仮称)」の設置については、進展が図れなかった。

3 市民の体力向上及び競技者の競技力向上について

(1) 市民の健康体力づくり運動への支援について

市民一人ひとりが自主的な活動を行うことのできる環境づくりとして、城跡公園体育館の休館日を利用して「市民健康体力づくりの日」事業を継続実施した。10月には700回開催を迎え、記念事業を開催した。

また、新たに塩田自然運動公園総合体育館での活動を4月より開始した。

(ア) 市民健康体力づくりの日事業

施設名	種目数	延回数	延参加者数
上田城跡公園体育館・第2体育館	6種目	49回	6,380人
自然運動公園体育館（体験会1回）	3種目	46回	1,368人
上田古戦場公園屋内運動場	1種目	11回	638人

健康推進課：参加者への体力測定（7回／男17人・女71人 計88人）

※参加者の推移（24年度までは城跡公園体育館のみでの活動数）

区分	25年度	24年度	23年度
延参加者数	8,386人	5,987人	5,820人
延回数	106回	47回	49回

(イ) 記念事業の開催

- 期 日：平成 25 年 4 月 4 日（木） 参 加：59 名
内 容：講演会 「誘い合って仲間づくり」
講 師：犬飼己紀子 氏（松本大学人間健康学部：教授）
- 期 日：平成 25 年 12 月 5 日（木） 参 加：93 名
内 容：講演会 「延ばそう健康寿命 高めよう元気度！」
講 師：高野秀樹 氏（上田市健康推進課・健康運動指導士）

(2) 競技力向上事業の推進について

- ① 競技力の一層の向上を図るため、競技力向上事業補助金交付規程に基づき、以下の 9 団体に対して強化選手の指定を行ない、競技力向上への取り組みに対し補助金を交付した。
また、競技力向上委員会では、上田市の代表としての自覚高揚を図るため、強化指定 2 団体への視察及び激励を行った。

〔25年度強化選手〕

- 上田陸上競技協会 (1 団) 上田東御小県駅伝チーム (再)
- 上田アーチェリークラブ (2 名) 宮原雅 (再) 宮原明日香 (新)
- ボウリング連盟上田支部 (1 名) 竹下将弘 (再)
- 上田乗馬倶楽部 (4 名) 増田真七海 (再) 若林凜香 (再) 羽毛田ひなの (再)
山下大貴 (再)
- 上田レスリング協会 (1 団) 上田西高レスリング部 (再)
- 上田剣道連盟 (3 名) 澤田かおり (再) 宮原浩義 (再) 大木恵満 (新)
- 上田市サッカー協会 (1 団) F.C 上田ジェンシャン (再)
- 上田柔道協会 (8 名) 勝見藤一 (再) 丸尾泉 (再) 内山貴之 (再) 中沢真樹 (再)
春日啓孝 (新) 小林翔太 (新) 藤井忠沖 (新)
窪田魅空斗 (新)
- 上田ソフトテニスクラブ (4 名) 山本和哉 (新) 市村基 (新) 山本遥輝 (新) 両角還 (新)

4 市民体育大会、各種のスポーツ事業及び講習会等の開催について

市民へのスポーツの普及振興とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかるため、各種スポーツ大会・スポーツ教室を支援し、各加盟団体主管のもとに実施した。また、市民の多様なスポーツ活動に対

応する講習会・講演会を実施した。

① 第62回市民総合体育大会の開催

・実施種目 17種目

軟式野球,ソフトボール,バレーボール,ソフトテニス,テニス,弓道,柔道,剣道,バスケットボール,
バドミントン,相撲,卓球,ゲートボール,ゴルフ,マレットゴルフ,グラウンドゴルフ,レスリング

※参加者の推移

区 分	25年度(62回)	24年度(61回)	23年度(60回)
競技種目	17種目	17種目	17種目
参加者数	3,068人	3,180人	3,195人

② 市民やスポーツ指導者の資質向上を目的としたスポーツ講演会・講習会の開催

(ア) シリーズスポーツ講演会の開催

○スポーツ講演会

期 日：平成25年11月26日(月) 会 場：上野が丘公民館大ホール 参加者：85名

内 容：演題「選手の力を引出すコミュニケーション」

講 師：ビル・レッティ氏（上田陸上競技協会駅伝部・前監督）

コーディネータ：掛川和彦氏（丸子修学館高等学校陸上競技部顧問）

(イ) 講習会・研修会

○スポーツ栄養学講習会

期 日：平成26年1月25日(土) 会 場：上田市教育委員会やぐら下庁舎 参加者：35名

講 師：堀内真由美氏（管理栄養士・フードコーディネーター）

内 容：「スポーツ選手の栄養と食事」

○スポーツ指導者研修会

期 日：平成26年3月25日(火) 会 場：上田市教育委員会やぐら下庁舎 参加者：46名

講 師：齊藤茂氏（松本大学人間健康学部：教員）

内 容：「スポーツメンタルトレーニング～最高のパフォーマンスを引出すコーチング～」

5 スポーツに関する施設（設備）整備の促進と調査研究について

(1) 加盟団体に対して施設改善要望アンケートを継続して実施し、利用者への安全面に考慮した修繕箇所と大会運営に支障がある備品整備について市へ要望を行い、自然運動公園50mプール塗装工事など幾つかの施設の改善が図られた。

(2) 施設委員会では、体育施設整備についての各地域の現状把握のため、丸子・真田・武石地域の体育施設視察と、日置電機㈱が竣工した健康増進センターの先進施設の視察を行った。

今後は、スポーツ推進課より提案された「上田市スポーツ施設の整備構想（検討案）」を基に、施設づくりの検討を進めていく。

6 広報活動の推進について

市民のスポーツへの関心や理解を深めてもらうため、様々なスポーツ情報を広く市民へ提供することに努めた。

(1) 広報紙の発行

- ・広報紙名「体協うえだ」 ・発行回数 年2回 ・発行部数 各12,000部
- ・発行時期 8月15日(第66号)、12月15日(第67号)
- ※スポーツ振興くじ助成金 382,000円

(2) スポーツ情報の収集及び提供

- ・ホームページによる情報提供

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度
体育協会アドレス http://zuku.umic.jp/hp/ueda-taikyo/	アクセス件数 12,856 件	アクセス件数 5,035 件

(3) 加盟団体、報道機関にスポーツ情報を積極的に提供し、活動結果等の掲載及び加盟団体のPRを行った。

- 「UCVスポーツだより」「広報うえだ」「週刊上田」「上田スポーツプレス」等への情報提供

7 国民体育大会等への競技者の派遣・支援について

国民体育大会等への出場選手・役員の派遣については、団体代表選手として参加する各団体所属の選手、役員を加盟団体と連携し派遣支援を行った。

国体選手の激励と壮行会の開催

本協会規程に基づき、上田市から長野県代表として国民体育大会に参加する選手・監督・コーチ・トレーナー等の壮行会を、体協役員・関係者の出席により盛大に開催した。また、冬季国体へ出場する選手への激励を、菅平スキークラブを通じて行った。

期 日：平成 25 年 9 月 24 日(火) ・場 所：アリオ上田イベントホール

※上田市関係出場者の推移

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
第 68 回東京国体(本大会)	42 人	43 人	37 人
第 68 回秋田国体(冬季)	9 人	10 人	

8 スポーツ少年団の育成について

(1) スポーツ少年団組織の基盤となる団員、指導者の登録推進に努め、単位団組織の支援と資質向上を図り、スポーツ少年団交流大会の開催や競技別交流大会に参加した。

- スポーツ少年団登録状況 ※平成 24 年 4 月 3 体育協会統合

年度	登録団数	団員数	指導者数	役職員
平成 25 年度	43 団体 (27 種目)	2,059 人	525 人	7 人
平成 24 年度	44 団体 (27 種目)	2,198 人	523 人	12 人

(2) 市内小・中学校及び保育園へ入団案内チラシを配布し、新規団員の加入を進めた。

- 新入団員合同募集会の開催

開催日：平成 26 年 3 月 2 日(日) 場所：県営上田野球場 当日受付数：320 人

9 スポーツ功労者の表彰及び、優秀選手等への表彰について 【敬称略】

本協会表彰規程に基づき理事会で決定し、体育功労賞 9 名、栄光賞個人 1 名を表彰した。また、国、県、市等への表彰について内申を行った。

○体育功労賞受賞者（9名）

種村光貢（上田市軟式野球連盟） 中澤憲二（上田ソフトテニスクラブ） 小林孝俊（上田市バスケットボール協会） 山本 斎（上田柔道協会） 星野久恵（上田市バレーボール協会）
田中功一（上田剣道連盟） 細川とし（上田市弓道協会） 春原常男（上田ソフトボール協会）
山口正浩（上田市少年硬式野球連盟）

○栄光賞受賞者（1名）

マルチネス・タダシ（上田レスリング協会・上田西高3年）

○平成24年度長野県スポーツ振興功績者表彰

有功章：個人/丸山俊治（上田市体育協会副会長）団体/丸子体育協会（代表 小林秀男）

栄光章：増田真七海（上田乗馬倶楽部・長野県馬術連盟推薦）

○上田市功労者表彰（3名）〔上田市体育協会会長推薦〕

小林秀男（上田市体協副会長） 両角喬男（上田市弓道協会） 加藤至（上田陸上競技協会）

○叙勲旭日双光章スポーツ振興功労 竹鼻要 氏（前県柔道連盟会長・上田柔道協会顧問）

○知事表彰体育功労 小林哲夫 氏（県レスリング協会会長・上田市体育協会専務理事）

10 スポーツ交流の推進について

加盟団体、スポーツ少年団において姉妹都市等とのスポーツ交流を図った。

第16回「野球の日」野球大会を8月3日に開催し、姉妹都市の上越市をはじめ県外からのチームを招いての交流や長野県スポーツ少年団競技別交流大会を開催し、青少年の交流を図った。

○第26回上田市スポーツ少年団交流大会

期 日：平成25年11月3日（日） 場 所：上田城跡公園陸上競技場 参 加：538名

○長野県スポーツ少年団 軟式野球交流大会

期 日：平成25年7月6日（日） 場 所：上田城跡公園野球場 参 加：668名

○東信地区スポーツ少年団 テニス交流大会

期 日：平成25年6月9日（日） 場 所：古戦場公園テニスコート 参 加：134名

○東信地区スポーツ少年団 剣道交流大会

期 日：平成25年8月18日（日） 場 所：自然運動公園総合体育館 参 加：319名

11 県大会規模以上の各種競技大会開催に向けての招致活動と開催支援について

各種競技のジュニア・成年・壮年における、県大会規模以上の大会開催に向けての招致活動と、開催支援を行なった。

観光スポーツを推進するため、「第27回上田古戦場ハーフマラソン・ウェルカムパーティ」の開催や、上田市内の史跡を巡る「真田幸村公ロマンウォーク」、菅平高原を利用する「マレットゴルフ選手権大会」などが、加盟団体の運営協力により盛大に開催され、上田市の観光PRに寄与した。

12 賛助会員の募集拡大と財源確保について

本協会の重要な財政基盤のひとつである賛助会員の拡充を図るため、加盟団体と連携し継続的な賛助会員を勧誘し、当協会の事業に対する理解を深めると共に財政基盤の強化を図る。

○ 賛助会員の拡大を図るため賛助会員の普及ポスター・看板等の作成

財政基盤強化のため総合企画委員会において企業団体、個人等に対し賛助会員の加入促進を図った。また、賛助会員・体育施設・公共施設等への体育協会PRポスターを新たに企画作成し、更なる賛助会員の拡大を図った。

昨今の厳しい経済状況の中、総合企画委員会だけでの会員確保は困難なため、今後も役員・加盟団体の皆さんの協力がより一層必要である。

○ 賛助会員の状況（平成26年3月31日現在）

年 度	会員数	金 額	継続会員	新規会員
平成25年度	252	256万円	245	7
平成24年度	253	257万円	245	8

1.3 スポーツに関する調査研究について

「生涯健康・元気都市うえだ」の実現を目指し、スポーツ施設や活動などのニーズに対応するため、ビジョン推進会議を開催した。

1.4 スポーツ活動中の安全管理について

スポーツ活動中の事故防止のため、体育施設利用上の安全確保と安全指導の周知徹底を図り、安全管理に努めた。

また、大きな社会問題となったスポーツ指導者における体罰の根絶についての倫理は、加盟団体及びスポーツ少年団指導者に対し周知徹底を図った。

1.5 東日本大震災における義援金活動について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う被災地の青少年のスポーツ活動を継続して支援するため、第2回義援金活動を昨年度に引き続き展開し、11月19日～20日に本活動の趣旨に賛同いただいた上田市と共に、前年にお礼訪問をいただいた宮城県山元町体育協会、南三陸町体育協会に義援金をお届けした。なお、義援金活動は平成26年度も継続して実施する。

○平成25年度活動状況

期 間：平成24年9月～平成25年10月

支援先：宮城県山元町体育協会(50万円)、南三陸町体育協会(50万円)

寄託金額：1,010,301円（24年度370,392円、25年度639,909円）

1.6 他機関・他団体事業との連携・協力について

(1) 市民のスポーツ活動支援として、地域事業所及び学校のスポーツ大会への審判員派遣を加盟団体と協力して行なった。

(2) (公財)長野県体育協会の事業については連携を図り、スポーツの振興に努めた。

(3) 東信都市体育協会連絡協議会は、平成25年8月27日に上田市、小諸市、佐久市、東御市の4市体育協会により佐久市で開催し、各市提案事項の協議や情報交換を行い、4市の連携を図った。

(4) 昨年度まで開催していた県下5市財団法人体育協会（長野・松本・岡谷・飯田・上田）事務局会議については開催できず、公益法人移行についての情報交換ができなかった。

事業報告書附属明細書

1. 平成25年度評議員および役員

○評議員

任期：平成25年4月1日から平成29年6月開催予定の評議員会の終結の時まで
定員5～15名

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
評議員	竹花 修一	上記のとおり	非常勤	無
評議員	松沢 征太郎	同上	非常勤	無
評議員	森田 千晴	同上	非常勤	無
評議員	内山 富之	同上	非常勤	無
評議員	三好 健三	同上	非常勤	無
評議員	久保 孝則	同上	非常勤	無
評議員	上野 正司	同上	非常勤	無
評議員	荻原 周	同上	非常勤	無
評議員	浪方 圭三	同上	非常勤	無
評議員	出田 行徳	同上	非常勤	無
評議員	滝澤 修一	同上	非常勤	無
評議員	北村 修一	同上	非常勤	無
評議員	島田 甲子雄	同上	非常勤	無
評議員	高橋 敏宏	同上	非常勤	無

○理事

任期：平成25年4月1日から平成27年6月開催予定の評議員会の終結の時まで
定員15～25名

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
会長	森 大和	上記のとおり	非常勤	無
副会長	渌 勉	同上	非常勤	無
副会長	増澤 延男	同上	非常勤	無
副会長	丸山 俊治	同上	非常勤	無
副会長	小林 秀男	同上	非常勤	無
副会長	木島 久文	同上	非常勤	無
専務理事	小林 哲夫	同上	常勤	有
理事	小林 孝俊	同上	非常勤	無
理事	金子 政夫	同上	非常勤	無
理事	佐野 正樹	同上	非常勤	無
理事	宮沢 怜子	同上	非常勤	無

理事	井出 康生	同上	非常勤	無
理事	富松 健夫	同上	非常勤	無
理事	島田 義英	同上	非常勤	無
理事	小嶋 國彦	同上	非常勤	無
理事	宮下 正一	同上	非常勤	無
理事	猪飼 憲二	同上	非常勤	無
理事	根橋 寛	同上	非常勤	無
理事	山崎 良則	同上	非常勤	無
理事	下村 栄	同上	非常勤	無
理事	福井 とし子	同上	非常勤	無
理事	可知 義和	同上	非常勤	無
理事	松井 幸夫	同上	非常勤	無

○監 事

任期：平成25年4月1日から平成27年6月開催予定の評議員会の終結の時まで
定員2名以内

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等
監事	長田 功	上記のとおり	非常勤	無
監事	佐藤 幸四郎	同上	非常勤	無